



CASBEE横浜2017年版v.1.1

横浜市内庁舎移転新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										4.3
Q1 室内環境										4.3
1 音環境				4.6	0.15	-	-			4.6
1.1 騒音				5.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				4.6	0.40	-	-			-
1 開口部遮音性能				5.0	0.62	-	-			-
2 界壁遮音性能				4.0	0.38	-	-			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-			-
1.3 吸音				3.9	0.20	-	-			-
2 温熱環境				4.3	0.35	-	-			4.3
2.1 室温制御				3.8	0.50	-	-			-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-			-
2 外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	5.0	0.25	-	-			-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.9	0.37	-	-			-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	5.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	4.8	0.30	-	-			-
3 光・視環境				4.0	0.25	-	-			4.0
3.1 昼光利用				2.4	0.32	-	-			-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.58	-	-			-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-			-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.42	-	-			-
3.2 グレア対策				5.0	0.28	-	-			-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	1.00	-	-			-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	4.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	4.9	0.25	-	-			-
4 空気環境				4.6	0.25	-	-			4.6
4.1 発生源対策				4.9	0.50	-	-			-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.9	1.00	-	-			-
4.2 換気				3.9	0.30	-	-			-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.34	-	-			-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	0.32	-	-			-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.9	0.34	-	-			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	5.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			4.3
1 機能性				4.2	0.40	-	-			4.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-			-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.31	-	-			-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.31	-	-			-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.9	0.38	-	-			-
1.2 心理性・快適性				4.6	0.30	-	-			-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.33	-	-			-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.31	-	-			-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.36	-	-			-
1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				4.7	0.30	-	-			4.7
2.1 耐震・免震				5.0	0.50	-	-			-
1 耐震性		防災	⑮耐震・免震	5.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	5.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				4.2	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				4.8	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備		防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-			-
3 電気設備		防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	4.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備		防災	⑰信頼性	5.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-			4.2
3.1 空間のゆとり				4.5	0.30	-	-			-
1 階高のゆとり				5.0	0.58	-	-			-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.42	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				4.9	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				3.5	0.40	-	-			-
1 空調配管の更新性				4.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性				4.9	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性				4.9	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-			-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.1

横浜市内庁舎移転新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		5.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	4.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.9
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		5.0	0.10	-	-	5.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				5.0	0.20	-	-	5.0
集合住宅以外の評価				5.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		5.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		5.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	4.2
1 水資源保護				4.0	0.20	-	-	4.0
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				4.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				4.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				4.4	0.60	-	-	4.4
2.1 材料使用量の削減				5.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.6	0.70	-	-	-
1 消火剤				4.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.33	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	4.0
1 地球温暖化への配慮				4.7	0.33	-	-	4.7
2 地域環境への配慮				3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止				5.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				4.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.8	0.33	-	-	3.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				4.4	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				5.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				5.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		5.0	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-